

BIMの日 2015 シンポジウム

「BIMによって変わる組織—職能? 職域?—」

主催 一般社団法人 日本建築学会 情報システム技術委員会 設計・生産の情報化小委員会

後援 一般社団法人 IAI 日本

「BIM」というと「BIMソフト」の機能、魅力を前面にしたセミナーがほとんどである。道具としては確かに便利であるが、「その道具は誰が使うのか」「使える状況に今あるのか」「組織は今までと同じで良いのか」といった議論が皆無であり、今回のシンポジウムではここにメスを入れたと考えている。調査を進めるなかで、国によって BIM を進めるうえでの環境にだいぶ違いのあることがわかった。また日本の技術者のコンピュータスキルが意外と低いこともわかってきた。「それが何故なのか」「どう対応すれば良いのか」このシンポジウムが解決の糸口となれば幸いである。

当小委員会では設計・生産における ICT の活用状況や、これらを取巻く職能・職域、組織といった周辺環境について調査を進めてきた。今回、BIM 設計コンペ「Build Live Japan 2014 Ishigaki」の事例から BIM 活用の課題と可能性を議論するとともに、アンケート調査「建築 CAD・BIM 利用実態調査」の結果報告、さらに小委員会の各 WG による成果報告を行う。それらを踏まえ、今後 BIM を進めるうえで重要なカギとなるであろう「職能・職域・組織」をテーマにパネルディスカッションを行う。

日時 2015年2月17日(火) 9:30～16:30
会場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)
定員 150名(申込み先着順)

タイムテーブル

9:30～9:40	主旨説明	柴峯一廣(梓設計)
第1部 BIM 設計コンペにおける BIM 活用の効果と課題 - 現在と明日への取り組み - 司会 山極邦之(大林組)		
9:40～9:50	「BIMによる設計コンペ Build Live Japan 2014の紹介」	
9:50～11:55	パネルディスカッション「BIM活用の課題と可能性」 PD 司会: 木村謙(エーアンドエー) 予定パネリスト: 綱川隆司(前田建設工業)、芝浦工業大学、東京都市大学、IAI 日本	
11:55～12:00	まとめ	玉井洋(鹿島建設)
第2部 BIMによる成果と今後の課題		司会 千葉貴史(建築ピポット)
13:00～13:20	「第15回建築CAD・BIM利用実態調査報告」	山極邦之(大林組)
13:20～13:50	「デジタル資料集作成についての提案および作成指針の解説」	池上宗樹(構造システム)
13:50～14:20	「リアルとバーチャル間の情報連携技術」	池田雅信(池田雅信建築デザイン事務所)
14:20～14:50	「BIMプロジェクトの標準プロセスマップ」	田部井明
14:50～15:00	休憩	
15:00～16:20	パネルディスカッション「BIMによって変わる組織—職能? 職域?—」 PD 司会: 柴峯一廣(梓設計) パネリスト: 芦田智之(日建設計)、矢嶋和美(鹿島建設)、金田充弘(東京藝術大学/ARUP)	
16:20～16:30	まとめ	猪里孝司(大成建設)

参加費(資料代含む)

会員 2,500 円、後援団体会員 3,000 円、会員外 3,500 円、学生 2,000 円(当日会場にて、お支払いください)

申込方法: WEB 申込み 日本建築学会 催し物・公募一覧 ▶ <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1056>

問合せ先

日本建築学会事務局 研究事業グループ 伏見 fushimi@aij.or.jp

BIM DAY 2015